

NEWS LETTER
古紙再生センター

紙リサイクルにもっとたくさんの方が参加する土台づくり。



Topics

- 令和4年度 事業報告
- 岩国環境フェスタ 2023 出展報告 (中四国地区)
- 全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2023 募集開始のお知らせ



公益財団法人 古紙再生促進センター



目次

P2	理事会報告
P2	令和4年度 事業報告
P13	正味財産増減計算書
P15	公益財団法人古紙再生促進センター役員名簿
P15	公益財団法人古紙再生促進センター評議員名簿
P16	活動報告本部
P16	紙リサイクル出前授業
P18	岩国環境フェスタ2023 出展報告
P20	お知らせ
	全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2023 募集開始のお知らせ
P22	センター日誌
	センター日誌 令和5年4月～6月分



令和4年度 事業報告

令和4年度は、コロナ禍において国内外における古紙を取り巻く環境が変化し続ける中、日本の紙リサイクルシステムの維持、古紙品質の維持・向上に向け、古紙品質安定対策事業、広報事業、調査研究事業及び紙の資源リサイクル安定化対策事業を4つの柱として次のとおり実施した。

なお、本年度よりSDGsを紙リサイクルをはじめとするセンター各事業と紐づけ活動を開始した。

1. 古紙品質安定対策事業

国内での幅広い古紙利用、及び東南アジアの低品質古紙輸入禁止の動きが拡大する中、古紙品質の維持向上を図るための事業を実施した。



(1) 古紙品質調査事業（平成24年度から継続）

北海道地区、東北地区、関東地区、中部地区、近畿地区、中・四国地区、九州地区で発生する古紙について、製紙工場において古紙の開梱組成調査を実施した。

地区	段ボール	新聞	雑誌
北海道地区	1工場 2ペール	1工場 2ペール	
東北地区	1工場 2ペール		
関東地区	5工場 10ペール	4工場 8ペール	10工場 20ペール
中部地区	3工場 6ペール	2工場 4ペール	4工場 8ペール
近畿地区	3工場 12ペール	1工場 4ペール	2工場 4ペール
中・四国地区	2工場 4ペール	1工場 2ペール	1工場 2ペール
九州地区	2工場 4ペール	2工場 4ペール	3工場 5ペール

段ボール、新聞、回収雑誌の開梱組成調査の結果は以下のとおりである。

【段ボール】	段ボール	その他紙 (基準3%以下)	禁忌品 (A+B) (基準0.3%以下)
令和4年度	97.8%	1.8%	0.4%
令和3年度	96.7%	1.8%	1.5%
過去8年平均 ^注	96.9%	2.5%	0.6%

注) 過去8年平均は、平成25年度～令和2年度の8年間の平均。

【新聞】	新聞	チラシ	その他紙 (基準1%以下)	禁忌品 (A+B) (基準0.3%以下)
令和4年度	64.2%	31.8%	1.7%	0.2%
令和3年度	62.7%	33.5%	2.1%	0.2%
過去8年平均	61.3%	35.8%	2.3%	0.3%

【雑誌】	雑誌	その他紙 (基準5%以下)	禁忌品 (A+B) (基準0.5%以下)
令和4年度	72.8%	26.6%	0.5%
令和3年度	66.4%	32.9%	0.7%
過去8年平均	63.3%	35.9%	0.8%

(2) 古紙品質情報ネットワークの運用

古紙品質トラブル報告及びトラブルに至らなかったもので改善を促した古紙品質情報の報告を全国で実施した。報告を受けた情報は、各地区委員会に報告するとともに全国製紙原料商工組合連合会の会員専用ホームページに掲載を依頼した。

古紙品質トラブルの報告件数は以下のとおりである。

() は昨年度件数

地区	感熱性発泡紙	臭いのついた紙	昇華転写紙	ロウ段	その他	計
関東地区	1 (4)	2 (1)	3 (7)	9 (5)	5 (5)	20 (22)
合計	1 (4)	2 (1)	3 (7)	9 (5)	5 (5)	20 (22)

品質改善を促した古紙品質情報は、製紙工場での受入れ時もしくは仕込み時の検収におけるもので、報告件数は以下のとおりである（令和4年4月～令和5年2月集計）。

【受入れ時検収】	感熱性発泡紙	臭いのついた紙	昇華転写紙	ロウ段	その他	計
北海道地区		10		8	19	37
東北地区					1	1
関東地区		90		215	108	413
静岡地区		4		4	157	165
中部地区		2		7	10	19
近畿地区		7		52	69	128
中・四国地区		4		1	198	203
九州地区		62		78	226	366
合計	0	179	0	365	788	1,332

【仕込み時検収】	感熱性発泡紙	臭いのついた紙	昇華転写紙	ロウ段	その他	計
東北地区	2	8		44	51	105
関東地区			17			17
静岡地区						0
中部地区		3		31	58	92
近畿地区		10		13	4	27
九州地区		11		10	82	103
合計	2	32	17	98	195	344

(3) 個別古紙品質対策

トラブル報告及び古紙品質報告の際に、製紙メーカーから提供された新規のロウ引き段ボール箱及び金属異物等の写真を地区委員会等で説明し、混入防止を呼びかけた。

2. 広報事業

紙リサイクルの促進を図るため、古紙排出時の分別及び禁忌品除去の徹底や未利用古紙の掘り起こし等に関する事業をコロナ禍において可能な範囲で実施し、未来の紙リサイクル促進を見据え小中学生を対象とした啓発事業、紙リサイクルセミナーの実施に取り組んだ。また、『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』については、応募点数の増加等、さらなる内容の充実を図り、3年ぶりに表彰式を実施した。



(1) 紙リサイクル啓発事業

1) 紙リサイクル研修会

ア 紙リサイクル研修会

研修会を対面にて5件、オンラインにて1件実施した。新型コロナウイルスの感染が徐々に収束し、研修会を再開する自治体があったことから、申し込みが昨年度に比べ増加した。

また、研修会にて参加者が視聴する動画のリニューアルを行った。古紙問屋にて古紙を処理する工程と製紙会社にて古紙を再生する工程がわかる内容となっている。

開催日	開催地	対象者	参加者数	形式	申込団体等
令和4年 5月13日	茨城県 つくば市	つくば・市民ネットワーク会員	17名	online	つくば・市民ネットワーク 事務所
令和4年 8月27日	奈良県 三宅町	三宅町町民	26名	対面	三宅町まちづくり推進部 環境衛生課
令和4年 11月18日	石川県 金沢市	石川県再生資源事業協同組合、 金沢市等	15名	対面	石川県再生資源事業協同組合
令和5年 1月18日	大阪府 貝塚市	貝塚市廃棄物減量等推進員及び貝 塚市再生資源集団回収推進協議会	43名	対面	貝塚市総務市民部 廃棄物対策課
令和5年 1月24日	静岡県 富士市	静岡県内を中心とした 紙パルプ関連業務従事者	53名	対面	静岡県工業技術研究所 富士工業技術支援センター製紙科
令和5年 2月16日	千葉県 市川市	市川市廃棄物減量等推進員	64名	対面	市川市廃棄物減量等 推進員地区連絡会

実施数：6回 ・ 参加者数：218名

イ 自治体の新人廃棄物担当者向け研修会

古紙回収の促進は全国の自治体の協力無くして行うことは難しいことから、新任担当職員を対象に古紙を取り巻く十分な情報を共有することを目的に、オンラインでの研修を以下の内容にて実施した。

また、多くの方が視聴できるように動画を令和5年3月までホームページに掲載した。

日 時	令和4年6月2日(木) 14時00分～16時00分
講 演	①「紙リサイクルの基礎知識」 (公財)古紙再生促進センター 業務部業務課 担当課長 濱野 彰吾
	②「紙製造・古紙利用の現場から」 王子マテリア株式会社 技術本部品質管理部 副部長 磯部 智史 氏
	③「古紙問屋・集荷の現場から」 全国製紙原料商工組合連合会 渉外広報委員会 委員長 須長 利行 氏

2) 紙リサイクル出前授業

ア 出前授業の実施

主に小学生高学年を対象に、対面とオンラインを併用して実施した。今年度より中部地区での出前授業を再開し、実施数は63件(対面54件、オンライン9件)、参加者は4,206名(対面3,606名、オンライン600名)となり、昨年度に比べ18件増加した。

地区	地区別回数	実施日	対象校等・学年	形式	参加者数
北海道	①	令和4年 9月27日	苫小牧市立泉野小学校3年生	online	79名
関東	①	令和4年 5月13日	加茂市立加茂南小学校4年生	対面	36名
	②	5月16日	北区立浮間中学校特別支援学級	対面	22名
	③	6月 9日	世田谷区立上北沢小学校4年生	対面	87名
	④	6月15日	上尾市立原市南小学校4年生	対面	75名
	⑤	7月 4日	横浜市立能見台小学校4年生	対面	34名
	⑥	7月19日	目黒区立下目黒小学校4年生	対面	85名
	⑦	7月22日	朝霞市小学校4～6年生	対面	32名
	⑧	8月 4日	武蔵野市未就学児・小学校低学年	対面	24名
	⑨	8月 9日	松原まちづくりセンター 小学校1～5年生	対面	16名
	⑩	8月22日	厚木市小学生	対面	18名
	⑪	9月16日	朝霞市立朝霞第二小学校5年生	対面	99名
	⑫	10月19日	坂戸市立桜小学校3年生	対面	52名
	⑬	11月 1日	横浜市立本牧小学校4年生	対面	39名
	⑭	11月27日	板橋区小学校1～5年生	対面	11名
	⑮	令和5年 2月 4日	足立区小学校1～4年生	対面	8名
静岡	①	令和4年 6月16日	富士市立吉永第二小学校4年生	対面	17名
	②	6月20日	富士市立岩松小学校4年生	対面	77名
	③	6月23日	富士市立富士川第二小中一貫校 松野学園小学4年生	対面	58名
	④	7月 5日	富士市立東小学校4年生	対面	6名
	⑤	7月 7日	富士市立吉原小学校4年生	対面	86名
	⑥	9月 5日	富士市立富士見台小学校4年生	対面	38名
	⑦	9月 7日	富士市立富士川第一小学校4年生	対面	54名
	⑧	9月15日	富士市立岩松北小学校3年生	対面	32名
	⑨	10月18日	富士市立広見小学校4年生	対面	110名
	⑩	11月10日	富士市立今泉小学校4年生	対面	100名
	⑪	11月24日	富士市立丘小学校4年生	対面	115名
	⑫	令和5年 2月27日	富士市立伝法小学校4年	対面	107名
	⑬	3月 2日	富士市立吉永第一小学校4年	対面	71名
中部	①	令和4年 5月31日	桑名市立大山田南小学校4年生	対面	48名
	②	6月 3日	四日市市立常盤小学校4年生	対面	90名
	③	6月 6日	名古屋市立弥富小学校4年生	対面	141名
	④	6月 7日	岐阜市立城西小学校4年生	online	44名
	⑤	令和4年 6月16日	桑名市立深谷小学校4年生	対面	22名
	⑥	6月22日	四日市市立常盤西小学校4年生	対面	133名
	⑦	6月28日	桑名市立大山田東小学校4年生	対面	129名
	⑧	6月29日	名古屋市立広路小学校4年生	対面	94名
	⑨	7月 4日	桑名市立大山田北小学校4年生	対面	86名
	⑩	7月 6日	名古屋市立中小田井小学校4年生	対面	81名
	⑪	7月6日、8日	名古屋市立神の倉小学校4年生	対面	94名
	⑫	7月 7日	名古屋市立牧之原小学校4年生	対面	39名
	⑬	7月 8日	名古屋市立旭出小学校4年生	対面	93名
	⑭	7月 8日	桑名市立益世小学校4年生	対面	63名
	⑮	7月12日	名古屋市立八社小学校4年生	対面	86名
	⑯	7月12日	岐阜市立本荘小学校5年生	online	94名
	⑰	7月14日	名古屋市立自由ヶ丘小学校4年生	対面	77名
	⑱	7月26日～29日	愛知県緑化推進委員会みどりの少年団 小学校1～6年生	対面	194名
	⑲	8月25日	瀬戸市本地地域力向上委員会小学校2～6年生	対面	18名
	⑳	9月 7日	名古屋市立松栄小学校4年生	対面	139名
	㉑	9月 8日	名古屋市立井戸田小学校4年生	対面	52名
	㉒	令和5年 1月20日	東郷町立春木台小学校4年生	対面	72名
	㉓	1月29日	植田東学区（植田東小）1～6年生	対面	34名
	㉔	2月 7日	瑞穂市立生津小学校4年生	online	63名
近畿	①	令和4年 6月28日	岸和田市立修齊小学校4年生	online	33名
	②	7月 8日	和歌山市立伏虎義務教育学校	対面	70名
	③	11月10日	姫路市立高浜小学校4年生	対面	183名
	④	11月30日	大阪市立長吉南小学校5年生	online	49名
	⑤	令和5年 2月15日	京都府城陽市立久世小学校5年生	online	100名
	⑥	2月25日	伊丹市立瀧池小学校1～6年生	対面	15名
中・四国	①	令和4年 9月26日	島根県立松江養護学校 安来分教室高校1～2年生	対面	10名
	②	10月19日	高松市立高松第一小学校6年生 高松市立高松第一中学校1年生	対面	34名
九州	①	令和4年11月11日	佐賀市立開成小学校4年生	online	79名
沖縄	①	令和5年 3月 2日	沖縄アミークスインターナショナル小学校2年生	online	59名

実施数：63件、参加者数：4,206名（昨年度45件、2,817名）

イ 小学生版出前授業の授業評価

小学生版出前授業の内容について、大学の教育学部の研究室と連携し教材などを開発している機関とともに評価・見直しを行い、関東地区での出前授業にて一部変更した内容にて実施した。

ウ 中学生版出前授業の教材作成

紙リサイクル出前授業は小学生向けの教材しか作成していないことから、今後中学校でも出前授業を実施していくことを想定し、教材などを開発している機関とともに中学校教員へのヒアリング等を行い教材作成の検討を行った。しかし、中学校の学習指導要領では紙リサイクルの関連性が薄く、出前授業に対する中学校でのニーズが限定的であることがわかったため、中学生版のテキストは作成しないこととした。

3) 地域広報活動

各地区委員会で環境関連イベントの参加など以下の紙リサイクル啓発活動を実施した。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントの中止、あるいは参加の一部見合わせもあった。

九州地区委員会では、毎年作成している子供向け「紙リサイクル読本」を作成し配布した。

地区	開催日	開催地	行事名	申込団体等
静岡	令和4年8月5日	静岡県富士市	工業技術研究所フェア	古紙分別回収・禁忌品混入防止の呼びかけ、雑がみ回収用袋・紙リサイクルノートの配布、紙すき体験
	令和5年2月10日～11日	静岡県富士市	ものづくり力交流フェア2023	古紙分別のパネル展示、古紙分別回収・禁忌品混入防止の呼びかけ、雑がみ回収用袋の配布等
中部	令和4年8月20日	石川県金沢市	いしかわ環境フェア	古紙回収・利用促進PR
	9月17日	愛知県名古屋市	環境デーなごや2022	古紙分別のパネル展示、雑がみ・紙製容器包装に関するクイズ、アンケート用紙の配布等
	9月23日～25日	長野県長野市	ながの環境フェア	古紙回収・利用促進のPR、クイズ、アンケート用紙の配布等
	10月9日	石川県金沢市	かなざわエコフェスタ	古紙回収・利用促進PR
	10月20日 10月26日 10月27日 10月28日	愛知県名古屋市	名古屋市施設見学会	製紙工場・古紙回収会社設備の見学会
	11月18日	石川県金沢市	ペーパーリサイクル講習会	紙リサイクルに関する講習会
九州	令和4年11月22日 11月24日 12月13日 令和5年1月26日 1月27日	福岡県北九州市	古紙リサイクルバスツアー	北九州市内の小学校4校の小学生5年生を対象に古紙の回収・流通・再生の現場の見学会

4) 紙リサイクルセミナー

新型コロナウイルス感染拡大防止対策（会場参加者人数の制限に加え、ライブ配信及び録画配信）を行ったうえで、以下のとおり実施した。

日 時	令和4年10月13日(木) 13時30分 ~ 16時00分		
会 場	星陵会館	会場参加者数	41名
		ライブ配信視聴者数	約100名
		録画視聴者数	約660名
講 演	①「紙リサイクルとSDGs」 (公財)古紙再生促進センター 業務部 技術担当部長 甲斐 和生		
	②「サーキュラーエコノミー(循環経済):グローバルトレンドのインパクト」 公益財団法人地球環境戦略研究機関 主任研究員 粟生木 千佳 氏		
	③「世界の紙・板紙の市場動向について」 国際紙パルプ商事株式会社 グローバルビジネス統括本部 海外営業本部 海外営業1部 部長 高瀬 誠重 氏		

5) 啓発資料等の配布

ア 会報

センターの活動状況、海外の古紙に関する情報等を会報（年4回、1,100部/回）として発行した。今年度から会報デザインのリニューアルを実施し、新デザインで発行した。

イ 古紙ハンドブック

隔年発行の『古紙ハンドブック 2023』の掲載データ収集及び原稿作成を行った。

ウ 啓発資料の配布

啓発資料は地方自治体・関係団体等へ提供を行った。

内 訳	件数
チラシ、パンフレットの提供	54件
DVDの提供	3件
啓発用パネルの貸出し	4件

エ ホームページ

オンラインセミナー及び統計データ等の更新を行い、情報発信に努めた。

オ SDGsレポート

紙リサイクルに関わるステークホルダーの意見を踏まえた基本レポートを発行した。

6) 紙リサイクルコンテスト

14回目となる「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022」は、令和元年度から継続して文部科学大臣賞の交付を受け、また、応募点数の増加のために新たなテーマを設定するなど内容の充実を図り、過去最高に次ぐ3,273点の応募があった。

全国小中学校環境教育研究会をはじめとする教育関係者等による厳正な審査のうえ、文部科学大臣賞や金賞などの各賞を決定した。

文部科学大臣賞、金賞及び特別金賞受賞者を招いて表彰式を以下のとおり開催した。

日 時	令和5年3月4日(土) 14時00分 ~ 15時00分
会 場	ホテルメトロポリタンエドモント1階「クリスタルホール」
後 援	文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会、読売新聞社、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、段ボールリサイクル協議会、日本製紙連合会

【文部科学大臣賞】

部 門	都道府県	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作文	福 岡 県	明治学園小学校3年	能美 にな	みんなで目指そう！ 紙リサイクル優等生！
ポスター	愛 知 県	刈谷市立依佐美中学校1年	江坂 蒼依	地域みんなで古紙回収！！

【金賞】

部 門	都道府県	学校名・学年	氏 名	タイトル	
作文	小学生部門	長 野 県	松本市立芳川小学校6年	小室 凉 栞	紙リサイクルは私の夢
	中学生部門	静 岡 県	静岡市立蒲原中学校3年	栗原 微 始	自分から“やる”リサイクル
ポスター	小学生部門	千 葉 県	船橋市立中野木小学校4年	須山 柚 葵	聞いて！ぼくたちの声！
	中学生部門	佐 賀 県	佐賀県立武雄青陵中学校3年	原田 彩 結	紙リサイクルでまた活きる

【特別金賞】

部 門	都道府県	学校名・学年	氏 名	タイトル
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞	東 京 都	国立筑波大学附属小学校4年	藤本 怜央菜	リサイクルと節水の両立 (作文)
日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞	千 葉 県	千葉市立葛城中学校3年	山口 愛理沙	今、自分にできること (作文)
段ボールリサイクル 協議会 会長賞	宮 城 県	紫山こども絵画造形教室2年	千葉 結 奈	また 会おう (ポスター)

【銀賞】

部 門	都道府県	学校名・学年	氏 名	タイトル	
作文	小学生部門	福 岡 県	明治学園小学校4年	野入 桃 子	古紙を生かす ～紙リサイクルの大切さ～
	中学生部門	宮 城 県	気仙沼市立松岩中学校3年	佐藤 里 桜	続けること 伝えること
ポスター	小学生部門	東 京 都	世田谷区立山崎小学校4年	中 山 鼎	ありがとう また 紙になれたよ
	中学生部門	宮 城 県	石巻市立青葉中学校3年	佐々木 恋海	生まれ変わる資源 ～新聞から絵本へ～

【銅賞】

部 門	都道府県	学校名・学年	氏 名	タイトル	
作文	小学生部門	三 重 県	てら小屋遊学舎4年	佐 野 雫	みんなで協力 紙リサイクル
		東 京 都	品川区立大井第一小学校5年	上 利 遥	未来に届け
		岐 阜 県	羽島市立竹鼻小学校5年	浅野 智 恵	生まれ変わるなら、生きているうちに！
	中学生部門	三 重 県	てら小屋遊学舎2年	鈴木 結 菜	私と母とリサイクル
		東 京 都	学習院女子中等科2年	南 明 希	リサイクルする社会へ
		静 岡 県	静岡市立蒲原中学校3年	清野 日 菜子	リサイクルの輪の一員として
ポスター	小学生部門	東 京 都	品川区立小山小学校1年	大岡 晃 平	かみをリサイクルしよう
		愛 知 県	幅下幼稚園・絵画教室6年	奥村 優 月	大切な資源を紙リサイクルで新しく
		愛 知 県	豊川市立牛久保小学校6年	小林 柚 菜	変身！！リサイクルレンジャー
	中学生部門	青 森 県	弘前市立第三中学校2年	一 戸 彩 乃	リサイクルは持続可能な社会のピース
		兵 庫 県	小林聖心女子学院中学校2年	山 縣 真 帆	リサイクル家系図
		埼 玉 県	さいたま市立大宮南中学校3年	北 沢 心 都	待って！捨てないで

【学校特別賞】

都道府県	学校名
愛知県	刈谷市立依佐美中学校

【学校奨励賞】

部門	都道府県	学校名
小学生部門	東京都	荒川区立第三日暮里小学校
中学生部門	福島県	白河市立白河中央中学校

7) 未利用古紙の掘り起こし・品質確保等の啓発

禁忌品見本帳を増刷し、事前確認した追加希望者に配付した。

(2) 紙リサイクル普及事業

1) 顕彰制度

ア 集団回収実施団体感謝状贈呈

各地区委員会から推薦のあった集団回収実施団体（56 団体）に感謝状を贈呈した。昭和 62 年開始から累計で 1,121 団体となった。

推薦地区	団体名
北海道	北野第2団地自治会、八親町内会、新明町老人クラブ、桂町内会、函館市本通町会
東北	弘前市立大和沢小学校 父母と教師の会、新屋十條団地子供会、羽田東町、あかねヶ丘二丁目子供育成会、北中山1丁目町内会、広瀬の杜子供会、松浪町協和会衛生部、緑ヶ丘町内会
関東	興野北町会、若宮みつばち会、下代田西町会リサイクル運動、五光自治会、宿矢名自治会、ハイランド2丁目自治会、かぶと山町会、神明町自治会壮年部、元郷四丁目町会、北浦和小学校PTA、美土里タイガース、安塚一自治会、常総市立大生小学校
新潟	中村こども会、姥ヶ山南もみじ会、加茂市立加茂南小学校PTA、東五十嵐自治会
静岡	富士市立原田小学校PTA
中部	甲州市立松里小学校、江南市立西部中学校、寛政町町内会、城山3丁目自治会、須賀子供会、鶯小学校PTA、新庄北小学校PTA、大野町町会連合会
近畿	城陽南団地自治会、南遊田第一町内会
中・四国	若草子ども会、三輪団地町内会青年部、滝悠友クラブ、4区C子供会、宮島台子供会、西予市立宇和中学校、余戸亀寿クラブ
九州	萩原区長会、麻生田校区第5町内老人クラブ万年青会、石田昭和会自治会、第三豊寿会、星野村小中学校父母教師連絡協議会、桧台自治会、畑中地区児童会、香椎宮前団地子供会

イ 紙リサイクル関連団体等表彰

令和4年度は、集団回収特別活動賞を贈呈する団体は無かった。

2) グリーンマーク

令和4年度の申請に関しては下表のとおり承認した。

【表示承認】	令和4年度	累計
事業者数	承認事 15 事業者（新規業者 5 件）	200 事業者
件数	37 件	781 件

【表示内容変更】	令和4年度
事業者数	4 事業者
件数	8 件

3. 調査研究事業

国内の調査については、コロナ禍の影響に伴う古紙発生構造の変化や、各地方自治体におけるリサイクル変化等につき地方自治体古紙関連施策調査及び紙リサイクル先進自治体の実態調査を実施した。また、海外の調査については、コロナ禍により現地調査が難しくなったことから海外レポートや Web メディアでの情報収集に努めた。



(1) 国内資源化調査

1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

オフィスや事業所のリサイクル状況につき令和3年度調査を元に、データ送付希望のあった749自治体別にデータを再編集し、結果を報告した。

2) 地方自治体古紙関連施策調査

ア 地方自治体紙リサイクル施策調査

地方自治体の紙リサイクル施策等に関するアンケート調査を全市区町村対象に行い、1,154市区町村より回答があり（回答率66.3%）、その結果を報告書にまとめて地方自治体や製紙・古紙業界関係者等に配付した。

【地方自治体古紙関連施策調査結果の一部概要】

直近5年間の雑がみ袋作成状況について調査したところ、作成した自治体は約1割であった。雑がみ袋を作成したと回答した4自治体にヒアリングを行ったところ、「雑がみ袋を配付後、雑がみ回収量が増加するようになった」、「家庭系可燃ごみの減量に一定の効果があるものと認識している」など、雑がみ袋作成に対して肯定的な回答が多かったが、一方で紙以外の異物混入が増加してきたとの回答もあった。

イ 紙リサイクル先進自治体の実態調査

住民一人当たりの古紙回収量（原単位）が多い自治体（紙リサイクル先進自治体）のうち、17市町村の古紙回収量、古紙回収システム、古紙回収量が多い理由等を事例集として取りまとめ、地方自治体や製紙・古紙業界関係者等に配付した。

3) 新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

リサイクル性の観点で、環境対応の紙・プラ複合素材に関する情報を収集した。また、欧米の古紙品質の調査を実施した。

4) 未利用古紙の回収ネットワーク構築

ウイズコロナにおけるステークホルダーの実情の把握に努めた。

5) 国・地方自治体等の紙リサイクル推進への協力

ア 紙製容器包装リサイクル推進協議会主催の技術委員会

イ 包装技術委員会／ISO1860委員会

ウ 全国牛乳容器環境協議会

エ 越谷市廃棄物減量等推進審議会

(2) 海外市場調査

アジア諸国及び欧米の製紙・古紙業界関係者との古紙をキーワードとしたオンライン交流での情報収集を検討したが実施には至らず、海外レポートやWebメディアでの情報収集のみとなった。

(3) 統計調査

1) 古紙統計年報

古紙の入荷量・消費量データを基に古紙統計をとりまとめ、関係各方面に提供した。

2) 国内統計・資料作成

経済産業省紙パルプ統計（生産・出荷・在庫統計、原材料統計）、財務省貿易統計（古紙、紙類、パルプ）等のデータについて収集・整理・分析・加工するとともに、製紙メーカーを対象に紙・板紙の生産量、紙・板紙生産のために要した繊維原料（古紙、パルプ等）などについて調査・集計し、以下の統計をまとめ、ホームページ等を活用し、広く一般に提供した。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ア 年間古紙需給統計 | カ 古紙品種別輸出先別輸出実績 |
| イ 古紙需給推移（品種別） | キ 古紙品種別輸入先別輸入実績 |
| ウ 紙・板紙向別古紙品種別消費量推移 | ク 中国の古紙輸入量（品種別） |
| エ 古紙回収率推移 | ケ 古紙消費原単位 |
| オ 古紙利用率推移 | |

3) 海外統計

中国造紙協会、欧州製紙連合会、米国森林製紙協会、Fastmarkets RISI の古紙関連統計を収集し、関係各方面に提供するとともにホームページに掲載した。

4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

古紙の回収量が国内消費量を上回る我が国において、安定的な需給バランスをベースとした持続的な回収システムの維持は社会的にも大きな課題であり、国内では少子高齢化に伴う人口構造変化、都市集中・地方過疎化、デジタル化、また世界的にはサーキュラーエコノミーを始めとした循環経済推進のうねりが高まる中、国内・外の中長期的な課題整理に向けて調査を行った。



(1) 古紙余剰対策事業

1) 紙リサイクル維持対策（備蓄事業）

製紙メーカー、古紙問屋、日本製紙連合会、全国製紙原料商工組合連合会をメンバーとする「日本の紙リサイクル維持に向けて」の会議を定期的で開催し、古紙需給状況の把握・共有を図った。センターの備蓄事業は実施しなかった。

(2) 紙の資源リサイクル安定化施策事業

1) 海外調査研究

アジアでの段ボール原紙生産の増加・古紙消費の増加が計画されている中、欧米からの古紙の輸出量が減少しており、段ボールを中心とした世界の古紙の輸出入バランスがどのように変化していくのか様々なデータに基づく2050年までのシナリオ作りを開始した。

本事業は令和4年度～令和5年度にかけて実施することとし、令和4年度は海外の調査機関とともに予想される複数のシナリオについて検討を行った。

2) リサイクル方法の調査研究

低質古紙の製紙原料以外への利用実態を調査し、報告書に取りまとめた。

3) 紙リサイクルの維持

ア 中長期的な紙・板紙生産（内需）及びそれに伴う古紙消費量予測に関する調査

既存のデータについて生産品目ごとに統計手法を用いて将来推計を行い、文献調査やヒアリング調査を通じて、紙・板紙の生産量、古紙発生量と回収量、古紙消費量の増減に影響を及ぼす可能性のある周辺情報を収集し、補正情報として将来推計値を補正するための調査を実施した。

イ オープンセミナー企画・運営

中長期の日本における紙リサイクルのあり方を考えるにあたって、前提となる社会・経済状況の変化や将来像、その課題の共有化を目的とし、「メガトレンド」をキーワードとしたオンラインセミナーの企画・検討を実施した。令和4年度は第3回から第6回の講演動画の撮影及び公開を行った。

ウ 地区委員会におけるヒアリング調査

全国の紙リサイクル関係者に対し、今後の検討課題整理に向けたテーマについての要望・意見並びにそれに伴うセンター事業運営の方向性への意見等、ヒアリング調査を通じての把握、さらに紙リサイクルの実態と展望、中長期ビジョンを検討していくうえで今後の社会・経済状況の変化並びにトレンドについて調査を行った。

エ 地方自治体における紙リサイクルの取り組み等に関する調査

原料としての古紙が全国的に不足傾向にある現状や紙の利用や紙リサイクルの重要性が再評価される動きもある中、古紙回収の一翼を担う地方自治体にヒアリングを行い、各地方自治体の取り組みや意識、現状の問題点などを把握し、また、古紙の排出者である一般消費者が古紙についてどのように認識しているかなどを把握し、紙リサイクルを促進する上での中長期の課題や、今後の古紙回収のあり方を検討・整理するための調査を開始した。当調査は令和4年度～令和5年度にかけて実施することとし、令和4年度は自治体及び一般消費者への調査の事前準備を行った。

オ 古紙再生・回収選別・製紙工場納入に係る GHG と Scope3 の算定に関する調査

過去の古紙利用と環境影響に関わる基礎データや考え方を整理し、現状の「古紙発生～回収～選別加工～製紙工場」に於ける GHG（温室効果ガス =CO₂）及びサプライチェーンに於ける「Scope3（原料調達段階）」の算定を行い、結果を報告書にまとめホームページに公開した。

5. その他の事業

各地区委員会において古紙に関する情報交換、研修会等を実施した。コロナ禍により一部の事業は中止を余儀なくされた。

以上

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	520	520	0
基本財産受取利息	520	520	0
特定資産運用益	68,705	68,219	486
特定資産受取利息	68,705	68,219	486
受取会費	228,293,548	227,956,138	337,410
賛助会員受取会費	228,293,548	227,956,138	337,410
受取寄付金	817,140	805,810	11,330
受取寄付金	817,140	805,810	11,330
雑収益	349,371	404,803	△ 55,432
雑収益	349,371	404,803	△ 55,432
経常収益計	229,529,284	229,235,490	293,794
(2) 経常費用			
事業費	224,898,028	210,463,239	14,434,789
役員報酬	20,927,000	20,927,000	0
給料手当	47,960,000	46,310,000	1,650,000
福利厚生費	10,172,000	9,932,000	240,000
役員賞与引当金繰入額	2,745,000	2,745,000	0
賞与引当金繰入額	3,855,000	3,658,000	197,000
役員退職慰労引当金繰入額	2,420,000	2,420,000	0
退職給付費用	803,000	1,512,000	△ 709,000
会場費	1,571,091	595,914	975,177
資料作成費	1,939,636	2,267,942	△ 328,306
啓発活動費	3,264,000	3,414,000	△ 150,000
広告料	280,000	60,000	220,000
システム費	3,970,960	1,090,100	2,880,860
委託費	59,612,848	58,799,666	813,182
会議費	76,564	45,966	30,598
旅費交通費	5,464,091	935,137	4,528,954
通信運搬費	5,676,206	5,087,000	589,206
減価償却費	2,457,880	2,723,880	△ 266,000
消耗品費	2,209,929	2,675,296	△ 465,367
印刷製本費	15,185,820	12,745,712	2,440,108
新聞図書費	3,368,364	4,500,322	△ 1,131,958
水道光熱費	1,183,000	1,093,000	90,000
賃借料	25,921,310	25,587,920	333,390
諸会費	893,040	29,040	864,000
諸謝金	151,346	120,277	31,069
租税公課	29,400	81,200	△ 51,800
支払手数料	28,930	40,040	△ 11,110
雑費	77,742	340,030	△ 262,288
地区事業費	2,653,871	726,797	1,927,074

理事会報告

活動報告

お知らせ

センター日誌

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	22,547,742	21,850,526	697,216
役員報酬	1,576,080	1,576,080	0
給料手当	3,626,142	3,994,104	△ 367,962
福利厚生費	800,244	858,103	△ 57,859
役員賞与引当金繰入額	205,000	205,000	0
賞与引当金繰入額	531,800	585,900	△ 54,100
役員退職慰労引当金繰入額	184,000	184,000	0
退職給付費用	84,000	193,800	△ 109,800
会場費	68,786	38,740	30,046
広告料	180,000	170,000	10,000
システム費	291,537	2,521,756	△ 2,230,219
委託費	363,400	398,000	△ 34,600
会議費	5,837,465	1,195,000	4,642,465
旅費交通費	301,183	419,059	△ 117,876
通信運搬費	160,870	193,307	△ 32,437
減価償却費	72,275	106,889	△ 34,614
消耗品費	148,606	216,785	△ 68,179
印刷製本費	10,380	35,480	△ 25,100
新聞図書費	28,370	23,650	4,720
水道光熱費	105,657	109,061	△ 3,404
賃借料	2,303,319	2,526,564	△ 223,245
諸会費	65,700	530,440	△ 464,740
諸謝金	4,834,230	4,593,447	240,783
租税公課	126,700	39,300	87,400
支払手数料	329,340	299,695	29,645
雑費	312,658	836,366	△ 523,708
経常費用計	247,445,770	232,313,765	15,132,005
当期経常増減額	△ 17,916,486	△ 3,078,275	△ 14,838,211

2. 経常外増減の部

(1) 経常外収益

過年度退職給付引当金取崩益	4,804,800	0	4,804,800
経常外収益計	4,804,800	0	4,804,800

(2) 経常外費用

経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	4,804,800	0	4,804,800
当期一般正味財産増減額	△ 13,111,686	△ 3,078,275	△ 10,033,411
一般正味財産期首残高	2,470,273,450	2,473,351,725	△ 3,078,275
一般正味財産期末残高	2,457,161,764	2,470,273,450	△ 13,111,686

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

III 正味財産期末残高

	2,457,161,764	2,470,273,450	△ 13,111,686
--	----------------------	----------------------	---------------------

公益財団法人古紙再生促進センター役員名簿

令和5年6月16日現在（敬称略・順不同）

役職	氏名	所属会社・団体名等
代表理事(理事長)	長谷川 一郎	レンゴー株式会社
業務執行理事(副理事長)	小貫 裕司	王子ホールディングス(株)
業務執行理事(副理事長)	佐藤 耕一	日本製紙株式会社
業務執行理事(副理事長)	栗原 正雄	栗原紙材株式会社
業務執行理事(副理事長)	大久保 信隆	株式会社大久保
業務執行理事(専務理事)	川上 正智	公益財団法人古紙再生促進センター
業務執行理事(常務理事)	櫻井 孝史	公益財団法人古紙再生促進センター
理事	雨宮 敏幸	公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
理事	飯田 悟	特種東海マテリアルズ株式会社
理事	飯田 俊夫	飯田環境クリーン株式会社
理事	石川 喜一郎	株式会社石川マテリアル
理事	石塚 守男	機械すき和紙連合会
理事	岩渕 慶太	株式会社イワフチ
理事	上田 晴健	三弘紙業株式会社
理事	遠藤 豊	日本紙パルプ商事株式会社
理事	菊池 初彦	株式会社丸元紙業
理事	北村 貴則	大和板紙株式会社
理事	倉持 徹雄	一般社団法人日本印刷産業連合会
理事	小幡 浩司	三菱製紙株式会社
理事	小六 信和	明和製紙原料株式会社
理事	塩瀬 宣行	大和紙料株式会社
理事	白峰 幹郎	大王製紙株式会社
理事	鈴木 茂	丸住製紙株式会社
理事	鈴木 隆男	山形資源株式会社
理事	田北 裕之	大分製紙株式会社
理事	長谷川 裕一	株式会社もっかいトラスト
理事	原田 隆行	日本製紙連合会
理事	水口 隆	興亜工業株式会社
理事	峯島 克史	北越コーポレーション株式会社
理事	吉浦 高志	株式会社久米川紙業
監事	松田 明彦	丸三製紙株式会社
監事	須長 利行	株式会社二見

公益財団法人古紙再生促進センター評議員名簿

令和5年6月16日現在（敬称略）

氏名	所属会社・団体名等
安藤 圭一	株式会社三井住友銀行 元代表取締役兼副頭取執行役員 (現 銀泉株式会社非常勤特別顧問)
磯貝 明	東京大学特別教授
梅田 慎也	株式会社宮崎 代表取締役会長
大坪 清	レンゴー株式会社 代表取締役会長 兼 CEO
加來 正年	王子ホールディングス株式会社 代表取締役会長
佐野 一	株式会社丸興佐野錦一商店 代表取締役会長
野沢 徹	日本製紙株式会社 代表取締役社長
畑 俊一	株式会社山室 名誉会長
服部 弘	弁護士
平井 成子	全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 代表
村山 憲二	公認会計士

理事会報告

活動報告

お知らせ

センター日誌

静岡地区



出前授業

富士市立 須津小学校



センター会員から子ども達に 紙リサイクルの大切さを伝える

実施概要

実施日	2023年5月18日(木)
実施場所	富士市立須津小学校
参加者	小学4年生 3クラス(94名)
講師	津國悦朗 (株)丸元紙業 伊藤大造 日本製紙(株) 三浦純 日本製紙(株) 大石佳広 (株)日刊紙業通信社 長橋宏和 事務局 (敬称略)

理事会報告

活動報告

お知らせ

センター日誌

紙リサイクル講義の様子

紙リサイクル授業では、体育館にて3クラス合同で行いました。センター静岡地区事務局の長橋が講師を務め、授業を実施しました。

授業は座学だけでなく、体験学習を交えながら進めていきました。体験学習では、紙の原料となる木材パルプや古紙パルプなどについて、実際に手に取りながら感触や臭いを観察してもらいました。普段使用している紙がパルプからできていることを知った子ども達からは驚きの声上がり、子ども達が分別・排出した古紙が新たな紙に生まれ変わるまでの流れを学習してもらいました。

また、紙を分別する際のポイントについてクイズを交えて学習しました。普段の生活から分別や紙リサイクルのポイントを意識して一人ひとりが行動することで、資源の有効活用やごみの減量といった大きな効果につながっていくことをお伝えして授業を終了しました。



合同授業の様子



パルプ見本の観察

手すきはがき作りの様子

手すきはがき作りについても、センター会員の皆様にご協力いただきながら、理科室にてクラスごとに実施しました。

不要になったコピー用紙を水と一緒にミキサーで細かくほぐし、すき枠に流し込んだはがきに星型などに切った色紙をちりばめて手すきはがきを作成していました。

センター会員の皆様のサポートもあり、大きな失敗もなく児童一人ひとりが世界に一つだけのオリジナルはがきを作成することができました。



岩国環境フェスタ 2023 出展報告

2023年6月3日(土)に山口県岩国市の岩国市役所1階多目的ホールにて「岩国環境フェスタ2023」が開催されました。中四国地区委員会の光井興産有限会社は、ブースを出展し来場者に紙リサイクルへの協力を呼びかけました。

ブースでは啓発パネルを展示し、来場者に内容を説明することで分別の重要性や禁忌品の混入防止等を呼びかけました。また、紙すきの実演も行い、古紙がリサイクルされて新しい紙に生まれ変わる様子を見学してもらいました。

今年は新型コロナウイルス感染症による人数制限も撤廃され、来場した多くの方々に分別収集の重要性や紙リサイクルへの協力を呼び掛けることができました。岩国環境フェスタ2023の様子をご紹介します。



出展ブースの様子

出展ブースでは、啓発パネルや来場者へのノベルティを準備しました。コロナによる人数制限が撤廃され多くの方に来場していただきました。

啓発パネルの展示

分別のポイントや禁忌品の混入防止についての啓発パネルを展示しました。また、紙の原料となる木材チップ・古紙パルプの見本を展示しました。





来場者の様子

分別の重要性や禁忌品の混入防止を訴える啓発パネルの前には、多くの来場者の方々が足を止め、紙リサイクルのポイントをPRすることができました。

紙すきの実演

古紙がリサイクルされて新しい紙に生まれ変わる様子を実演しました。来場した子供たちも興味津々な様子で見学しており、自分たちが分別した古紙が生まれ変わる過程を実感してもらうことができました。



所感（光井興産有限会社）

今年はコロナによる人数制限がなく来場者が例年以上ににぎわっており、ノベルティで用意したティッシュ、ノートも午前中ですべてなくなり、初めてのことで驚きました。

紙すき実演も新聞、雑誌がまた生まれ変わる姿に子供たちもとても興味津々で、おうちでも作りたいという声も多く、とても好評でした。

参加企業・団体

※敬称略・順不同

光井興産有限会社



全国小中学生 “紙リサイクル”コンテスト 2023 募集開始のお知らせ

今年度も全国小中学生“紙リサイクル”コンテストを開催することとなりました。

本コンテストは次世代を担う小中学生に、資源の有効利用である「紙リサイクル」について関心を持ってもらうことを目的として、全国の小中学生から紙リサイクルに関する活動をテーマとした作文・ポスターを募集しています。昨年度に引き続き、「紙リサイクルに関する活動・体験やアイデア」と「紙リサイクル活動と持続可能な社会づくり」の2つのテーマで募集しています。

今年度の募集チラシや過去の受賞作品を掲載しています。内容をご確認いただき、日頃からお付き合いのある小学校・中学校に本コンテストをご紹介頂ければ幸いです。

テーマ

紙リサイクルに関する活動・体験やアイデア
紙リサイクル活動と持続可能な社会づくり

募集対象

全国の小学生・中学生ならどなたでも

締切

2023年12月8日(金)

募集部門

- ①作文小学生部門
- ②作文中学生部門
- ③ポスター小学生部門
- ④ポスター中学生部門

過去の受賞作品



紙リサイクルコンテスト 2022
文部科学大臣賞 ポスター部門



紙リサイクルコンテスト 2022
金賞 ポスター中学生部門

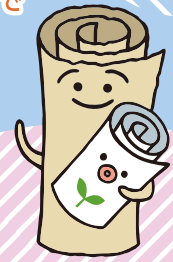
上記は受賞作品の一部です。
過去の受賞作品はこちら！



今年度の募集チラシはこちら！
自由にダウンロード・印刷して
ご活用ください。



今回で
第15回目です！



紙リサイクル促進大使
「カミリィ」ちゃんと「カミリィママ」

全国小中学生 “紙リサイクル” コンテスト2023

作文・ポスター
大募集！



テーマ

- 紙リサイクルに関する活動・体験やアイデア
- 紙リサイクル活動と持続可能な社会づくり

締切 2023年

12月8日(金)
(当日消印有効)

最優秀
作品

みんなで目指そう！紙リサイクル優等生！
コロナがももつ三年。インターネットでの
買い物が多くなり、家に段ボールがふえた。
それをまとめてリサイクルに出すのは、私の
役わり。段ボールにふれる機会もふえた。
ある日、ほとんどの箱に見たことのない同
じマークがついていることに気がついた。広
げた箱のまわりを矢印が一周している。調べ
てみると、これは段ボールのリサイクルマー
ク。なんと世界共通のマークだ。あらため

2022年度 文部科学大臣賞
作文部門受賞作品 小学3年生

最優秀
作品



2022年度 文部科学大臣賞
ポスター部門受賞作品 中学1年生

作文の全文は
ホームページで
読めます



応募者全員に参加賞



紙リサイクルノート
プレゼント！

文部科学大臣賞
金賞、特別金賞、銀賞、銅賞
学校特別賞/学校奨励賞
を設けています！

各賞受賞者・受賞校には
賞状、副賞を差し上げます

1回1梱包30作品以上の団体応募に限り、
事務局で送料負担いたします。

- 〔主催〕 公益財団法人古紙再生促進センター
〔後援〕 文部科学省 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国市町村教育委員会連合会
全国小中学校環境教育研究会 読売新聞社 全国製紙原料商工組合連合会
日本再生資源事業協同組合連合会 段ボールリサイクル協議会 日本製紙連合会

応募方法など詳しくは裏面をご覧ください。

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2023 応募票

作品名				該当する項目に○をつけてください	
氏名 (ふりがな)	学年	年	応募 部門	1 作文 小学生	団体応募
学校名・ 教室名	担当先生名			2 作文 中学生	
				3 ポスター 小学生	個人応募 ※
				4 ポスター 中学生	
ポスターの意図 ※ポスター応募者のみ記入					

全て記入して、各作品の裏に必ず貼り付けてください。

※個人応募の方は①住所、②電話番号、③FAX番号をわかるように記入し、同封してください。

応募票が複数必要な場合は、公益財団法人古紙再生促進センターのホームページよりダウンロードできます。 <http://www.prpc.or.jp/>

理事会報告

活動報告

お知らせ

センター日誌

令和5年度 センター日誌 4～6月分

理事会報告

活動報告

お知らせ

センター日誌

月	日	会議名	主要議題
4月	13日 (木)	中部地区委員会 東海分会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> ①古紙の需給・市況動向について ②経済産業省からの要請、国会での質疑、禁忌品啓発資料について ③紙リサイクル出前授業について ④古紙品質トラブル報告 ⑤合同総会・地区委員会について ⑥その他 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋施設見学会について ・今後の中部地区委員会等の開催予定
		九州地区委員会	<ul style="list-style-type: none"> ①古紙の需給・市況動向について ②古紙の品質問題について ③令和5年度九州地区活動計画、継続事業について <ul style="list-style-type: none"> ・親と子の紙リサイクル読本発行 ・北九州市内小学生対象の紙リサイクルバスツアーの実施 ・集団回収感謝状の贈呈 ・小学生高学年対象の紙リサイクル出前授業 ・全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2023の募集 ④紙リサイクル意見交換会、研修会の実施協力をお願い ⑤その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の九州地区委員会等の開催予定
20日 (木)		静岡地区委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> ①古紙の需給・市況動向について 古紙の市況動向・品質状況報告 ②事務局からの連絡事項 <ul style="list-style-type: none"> ・紙リサイクル出前授業について 日時:6月19日(月)9:15~12:00 場所:富士宮市立富丘小学校体育館(講義) 対象:4年生4クラス 137名 ・フェア出展について (案)7/8(土)富士市カーボンゼロのイベント(イオン内) ・活性化行事 情報・意見交換会 ・地区事業 講演会の内容について ・地区事業 委員研修会の内容について ③その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の静岡地区委員会の開催予定
		近畿地区委員会	<ul style="list-style-type: none"> ①古紙の需給・市況動向について ②その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の近畿地区委員会等の開催予定
21日 (金)		関東地区委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> ①古紙需給動向(古紙問屋) ②古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③古紙品質トラブル報告 ④令和4年度関東地区古紙開梱組成品質調査結果について(報告) ⑤2023年4月~9月における段ボール、新聞、雑誌の消費計画について ⑥その他 <ul style="list-style-type: none"> ○紙リサイクル出前授業 5月27日(土)川越市 6月19日(月)市原市立牛久小学校 6月23日(金)朝霞市立朝霞第四小学校 7月21日(金)朝霞市 8月19日(土)板橋区 ○今後の関東地区委員会等の開催予定
		近畿地区委員会	<ul style="list-style-type: none"> ①古紙の需給・市況動向について ②その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の近畿地区委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
4月	26日 (水)	4月度常任理事会	<ul style="list-style-type: none"> ①理事会と定時評議員会の招集及びその目的事項について ②任期満了に伴う理事・監事候補者について ③令和4年度決算見込みについて ④全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2023について ⑤中長期的課題整理まとめの方向性 ⑥令和5年度第1回業務委員会議事次第について ⑦その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールについて
		第1回業務委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> ①各地区の古紙需給・市況動向について ②2023年4月~9月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について ③自治体の新人廃棄物担当向け研修 ④中長期的課題整理まとめの方向性 ⑤その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の業務委員会等の開催予定
5月	15日 (月)	財務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度事業報告(案)について ②令和4年度決算報告(案)について
	16日 (火)	監事会	<ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度事業報告(案)について ②令和4年度決算報告(案)について
	17日 (水)	近畿地区委員会	<ul style="list-style-type: none"> ①近畿商組理事長交代の報告 ②古紙の需給・市況動向について ③その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の近畿地区委員会等の開催予定
22日 (月)		関東地区委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> ①古紙需給動向(古紙問屋) ②古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③古紙品質トラブル報告 ④その他 <ul style="list-style-type: none"> ○紙リサイクル研修会 「令和5年度自治体の新人廃棄物担当向け研修」 ・録画配信:6月5日(月)~2024年3月31日(日) ・「紙リサイクルの基礎知識」 当センター業務部業務課担当課長 濱野 ・「製造・古紙利用の現場から」 レンゴー株式会社 製造部門生産本部生産部長 南氏 ・「古紙問屋・集荷の現場から」 全国製紙原料商工組合連合会 渉外広報委員会委員長 株式会社高藤英次商店 代表取締役社長 高藤氏 ○全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2023について ・応募期間:6月上旬~12月8日(金)当日消印有効 ・表彰式:(予定)2024年3月2日(土) ○紙リサイクル出前授業 5月27日(土)川越市(北公民館) 6月19日(月)市原市立牛久小学校 6月23日(金)朝霞市立朝霞第四小学校 7月21日(金)朝霞市 8月19日(土)板橋区 ○関東地区委員会 センター会議室リアル出席について ○今後の関東地区委員会等の開催予定
		近畿地区委員会	<ul style="list-style-type: none"> ①古紙の需給・市況動向について ②その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の近畿地区委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
5月	23日(火)	静岡地区委員会 (Web会議システム併用)	①古紙の需給・市況動向について 古紙の市況動向・品質状況報告 ②事務局からの連絡事項 ・集団回収感謝状贈呈について 推薦団体:富士市新迫町町内会 ・紙リサイクル出前授業について 日時:6月12日(月)9:10~11:55 場所:富士宮市立富士見小学校体育館(講義)、 図工室(紙すき体験) 対象:4年生2クラス 68名 日時:7月13日(木)8:20~12:00 場所:富士宮市立東小学校体育館(講義)、 家庭科室(紙すき体験) 対象:4年生3クラス 88名 ・フェア出演について ・活性化行事 情報・意見交換会 ・講演会について ・委員研修会の内容について ③その他 ・自治体の新人廃棄物担当向け検収 ・中長期的課題整理まとめの方向性 ・今後の静岡地区委員会の開催予定
24日(水)	5月度常任理事会	①通常理事会(5/24)、定時評議員会(6/16)及び臨時理事会(6/16)の上程議案について ②職務執行状況について (6月16日開催の臨時理事会において報告予定) ③集団回収実施団体への感謝状贈呈について (北海道地区委員会、九州地区委員会からの推薦) ④新年互礼会について 開催日時:令和6年1月9日(火)(仮)13:30~15:30 場所:経団連会館ダイヤモンドルーム ⑤令和5年度第2回業務委員会議事次第について ⑥その他 今後のスケジュールについて	
		通常理事会 (Web会議システム併用)	第1号議案 令和4年度事業報告について 第2号議案 令和4年度決算報告について 第3号議案 定時評議員会の開催について 第4号議案 委員会規程の一部改定について
		第2回業務委員会 (Web会議システム併用)	①通常理事会の報告について ②各地区の古紙需給・市況動向について ③集団回収実施団体への感謝状贈呈について (北海道地区委員会、九州地区委員会からの推薦) ④全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2023について ⑤2022年度(令和4年度)古紙品質調査について(報告) ⑥その他 ・今後の業務委員会等の開催予定
30日(火)	北海道地区委員会	①古紙共販集計表について ②古紙需給動向について ③古紙消費実績と計画対比表について ④令和5年4~9月古紙消費計画について ⑤北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表について ⑥古紙の消費量と在庫量の推移 ⑦情報交換 ⑧その他 ・令和5年度集団回収感謝状贈呈について ・令和5年度リサイクルペーパーフェアについて	

月	日	会議名	主要議題
6月	15日(木)	第15回家庭紙委員会 (Web会議システム併用)	①古紙入荷・消費・在庫(2023年2月~3月) 古紙地域別入荷(同上) ②古紙需給の現状及び見通しに関する意見交換 古紙発生の現状・見通し、古紙輸出、トビックス等 メーカー消費の現状及び見通し 意見交換 ③古紙の品質に関する情報交換 メーカーでの品質トラブル、禁忌品報告 意見交換 ④その他 中長期的課題報告書の取り纏め・進捗状況について (センター創立50周年事業) 次回以降の家庭紙委員会の日程について
16日(金)	定時評議員会 (Web会議システム併用)	第1号議案 令和4年度決算報告の承認の件 第2号議案 理事の選任に関する件 第3号議案 監事の選任に関する件 第4号議案 評議員の選任に関する件 報告事項 ①令和4年度事業報告について ②令和5年度事業計画及び収支予算の報告について	
	臨時理事会 (Web会議システム併用)	報告事項 ① 定時評議員会の決議事項等について 第1号議案 代表理事の選定について 第2号議案 業務執行理事の選定について 第3号議案 副理事長の選定について 第4号議案 常務理事の選定について 第5号議案 常勤役員の報酬について 報告事項 ② 代表理事・業務執行理事の職務執行状況について	
	第3回業務委員会 (Web会議システム併用)	①定時評議員会の報告について ②臨時理事会の報告について ③各地区の古紙需給・市況動向について ④その他 ・今後の業務委員会等の開催予定	
19日(月)	近畿地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②その他 今後の近畿地区委員会等の開催予定	
20日(火)	中・四国地区委員会 (Web会議システム併用)	①製紙メーカー生産状況・古紙入荷状況 ②各地区の古紙市況報告 ③質疑応答 ④古紙品質について ⑤その他 今後の中・四国地区委員会の開催予定	

月	日	会議名	主要議題
6月	22日(木)	関東地区委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> ①古紙需給動向(古紙問屋) ②古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③古紙品質トラブル報告 ④その他 <ul style="list-style-type: none"> ○紙リサイクル研修会 「令和5年度自治体の新人廃棄物担当向け研修」 ○録画配信:明年3月31日(日)まで配信中 *当センターホームページ「ピックアップ」に掲載 ○講演内容:講師 ・「紙リサイクルの基礎知識」 当センター業務部業務課長 濱野 ・「製造・古紙利用の現場から」 レンゴー株式会社 製造部門生産本部生産部長 南氏 ・「古紙問屋・集荷の現場から」 全国製紙原料商工組合連合会 渉外広報委員会委員長 株式会社斎藤英次商店 代表取締役社長 斎藤氏 ○Webセミナー ライブ配信:7月13日(木)14:00~15:00 録画配信:7月20日(木)~8月20日(日) ・講演内容:(予定)古紙業界でのDX推進について ・講師:一般社団法人AI・IoT普及推進協会 代表理事 阿部 満 氏 ○紙リサイクル出前授業 6月23日(金)朝霞市立朝霞第四小学校 7月19日(水)世田谷区立上北沢小学校 7月21日(金)朝霞市(朝霞市リサイクルプラザ) 8月 9日(水)世田谷区 松原地区 ごみ減量リサイクル推進委員会 8月19日(土)板橋区 9月 1日(金)多摩市立多摩第一小学校 9月16日(土)板橋区立志村第二小学校 11月25日(土)船橋市 ○明年(令和6年)1月の関東地区委員会について ・日程(案):令和6年(2024年)1月30日(火) ・場所(案):浅草ビューホテル ・スケジュール:14:00~14:45 メーカー会議 (予定) 15:00~15:45 関東地区委員会 16:00~16:45 集団回収感謝状贈呈式 <終了後に記念撮影の時間含む> 17:00~19:00 懇親会(対象者:関東地区委員) ○今後の関東地区委員会等の開催予定
23日(金)	中部地区 三分会合同 総会、地区 委員会	総会 第1号議案 令和4年度決算報告、監査報告 第2号議案 役員及び地区委員の紹介 第3号議案 令和4年度決算並びに令和5年度地区事業費の配分について 第4号議案 令和4年度決算並びに令和5年度地区支援費の配分について 第5号議案 その他 地区委員会	<ul style="list-style-type: none"> ①中長期的課題報告書の取り纏め・進捗状況 ②古紙の需給・市況動向について ③集団回収感謝状贈呈実施要領における推薦基準の改定及びコロナ禍における運用基準の変更について ④その他 今後の中部地区委員会各分会の開催予定

月	日	会議名	主要議題
6月	23日(金)	九州地区委員会	<ul style="list-style-type: none"> ①中央状況について ②令和4年度活動報告、令和5年度地区委員会行事計画 ③古紙品質、2022年度各地区別「その他、禁忌品」内容 ④令和5年度集団回収実施団体感謝状贈呈について ⑤その他 ・紙リサイクル出前授業の案内について 福岡県遠賀郡芦屋教育委員会生涯学習課 10月21日(土)10:30~ 小学生4~6年生30名程度対象 ・紙リサイクルコンテスト2023について ・海外トピックス 集団回収実施団体感謝状贈呈式
27日(火)	第1回国際委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> ①古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換 ・古紙発生の現状及び見通し報告 ・国内製紙会社の古紙消費の現状及び見通し報告 ・古紙輸出に関するトピックス及び見通し報告 ②その他 ・国際委員会の出席形式について ・中長期的課題報告書の取り纏めについて ・Webセミナーについて ・紙リサイクル研修会について ③次回の国際委員会スケジュール 	
	静岡地区委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> ①古紙の需給・市況動向について 古紙の市況動向・品質状況報告 ②事務局からの連絡事項 ○「産業振興フェアinいわた」への出展について ○紙リサイクル出前授業について ○実施報告及び今後の計画 ・6月12日(月)富士宮市立富士見小学校(済) ・6月19日(月)富士宮市立富丘小学校(済) ・6月22日(木)牧之原市憩の家みち(済) ・6月29日(木)富士市立吉永第二小学校 ・7月 4日(火)富士市立鷹岡小学校 ・7月 7日(金)富士市立原田小学校 ・7月10日(月)富士市立神戸小学校 ・7月13日(木)富士宮市立東小学校 ・7月20日(木)富士市立富士南小学校 ○新聞購読者割合の調査報告 ○全国小中学生「紙リサイクル」コンテスト2023について ○地区事業について ○講演会及び委員懇話会の日程変更(案) ・8月24日(木)⇒ 8月22日(火)に変更 会場:ホテルグランド富士(富士市) 15:30~15:45 集団回収感謝状贈呈式 15:45~16:20 静岡地区委員会 16:30~17:30 講演会 17:40~19:10 委員懇話会 ○講演会の内容について ○10月19日(木)~21日(土)委員研修会の内容について ○その他 ○岳南排水路点検に伴う工場休転時の古紙受け入れ予定について 対象期間:7月22日(土)~7月31日(月) 7月7日(金)時点のメーカー各社の古紙受け入れ計画をとりまとめる。 ○今後の静岡地区委員会の開催予定 	

編集後記

本号は令和4年度事業報告について掲載しました。社会構造や国際情勢の変化など大きな社会変化の中で、持続可能な社会の実現に貢献する「紙リサイクル」を維持・向上するため、引き続き様々な啓発活動に努めて参ります。

また、本号では第15回目の開催となる全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2023の募集開始のお知らせを掲載しました。昨年の応募点数3,273点を上回る応募が頂けるよう応募促進活動に努めて参ります。

会員の皆様にはぜひ工場見学や集団回収などお付き合いのある小・中学校に本コンテストについてご紹介いただければ幸いです。お力添えいただけますよう関係者の皆様をお願い申し上げます。

(武田)



地区委員会事務局

地区	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
北海道	060-0002	札幌市中央区北二条西2丁目 リージェントビル5階	011 (271) 1551	011 (232) 0017
東北	980-6003	仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル3階 日本紙パルプ商事(株)北日本支社内	022 (225) 3359	022 (261) 4522
関東	104-0042	東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4階	03 (3537) 6822	03 (3537) 6823
静岡	417-0801	富士市大淵2590番1号 静岡県富士工業技術支援センター内	0545 (35) 5270	0545 (35) 5026
中部	450-0002	名古屋市中村区名駅3丁目25番9号 堀内ビル7階	052 (582) 1836	052 (581) 6943
近畿	541-0052	大阪市中央区安土町1丁目7番13号 トヤマビル7階 日本製紙連合会関西支部内	06 (6262) 6315	06 (6262) 6316
中・四国	799-0492	四国中央市三島紙屋町2番60号 大王製紙(株)内	0896 (23) 9124	0896 (23) 4411
九州	812-0011	福岡市博多区博多駅前4丁目13番27号 グラントハイツ博多314号	092 (292) 5381	092 (292) 5382

会報

news
LETTER

第49巻第3号
2023年7月13日

発行所

公益財団法人古紙再生促進センター

〒104-0042 東京中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4F

電話 03 (3537) 6822 (代表)

ホームページ <http://www.prpc.or.jp>

発行人 川上 正智

印刷所 日本印刷株式会社

リサイクル適性[®]

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

古紙再生促進センターは紙リサイクルが担うSDGsの6つの目標を設定しました



公益財団法人 古紙再生促進センター

